

業界初！建築図面から5分で自動判定 「改正省エネ基準の自動判定システム」4月23日から提供開始

住宅建築の K〔建築・経営・工事・購買〕を情報・通信技術でフルカバーするエンジンとしてクラウドサービス事業を展開し住宅建築・リフォーム業界に貢献する株式会社 K-engine（ケイエンジン、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：喜久川 政樹）は、2015年4月から完全施行となる改正省エネルギー基準の適合について、建築図面から自動的に計算して判定できる機能「改正省エネ基準の自動判定システム」を K-engine サービス※に取り入れて2015年4月23日より提供を開始します。

※2015年2月20日現在：ご利用2,000社突破

住宅の省エネルギー基準は、2013年10月1日より通称「平成25年省エネ基準」として施行が開始されました。今までは旧基準「平成11年省エネ基準」と並行して運用されてきましたが、2015年4月1日よりこの新基準が完全施行となり、長期優良住宅制度やフラット35Sの判定も新基準に移行されます。更には2020年には義務化も予定されており、住宅建築業界にとって対応は必須になってきます。

しかし複雑な計算を従来業務に追加して行う必要がある為、手間も時間もかかるという問題がありました。

そこで住宅建築業界の IT プラットフォームを提供する株式会社 K-engine はこの度、従来の建築図面投入後5分で住宅1棟分見積を実現する「K-engine サービス」に、平成25年省エネ基準の適合について自動計算し判定する機能を加えて2015年4月23日より新たに提供を開始します。追加の作業を一切する事なく、1棟分の見積を作るプロセス内で自動的に計算から適合判定まで行われます。

住宅省エネルギー基準 適合判定結果			
工事件名	個人 木部 様邸		
地域	6地域		
判定結果	適合		
外反性能基準			
開口部比率			
外皮等面積	294.41㎡	設計値	基準値
開口部面積	33.22㎡	0.112	0.13 未満
判定			適合
断熱性能基準			
開口部断熱性能 [W/(㎡・K)]			
熱貫流率 [W/(㎡・K)]	4.07		(は) 4.07 以下
ガラスの日照取得率	0.40		0.49 以下
判定			適合
一次エネルギー消費量			
住宅の形状について			
外皮等面積	294.41㎡	設計値	基準値
床面積の合計	120.07㎡	2.46	2.8以下
判定			適合
設備の仕様基準			
暖房、冷房、給湯、換気、照明の各設備は、一次エネルギー消費量の基準を満たしているものとします。			

「改正省エネ基準の自動判定システム」
アウトプットイメージ

商流の起点となる住宅建築会社さまから IT 化を促進させることは、流通業界、建築資材メーカーなど、その上流まで大きく効率化、精度向上させることに繋がります。当社では、今後も業界プロセスにイノベーションをもたらす画期的な「K-engine サービス」を通じて、住宅建築業界の飛躍的な発展に貢献していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 K-engine 経営企画・管理本部

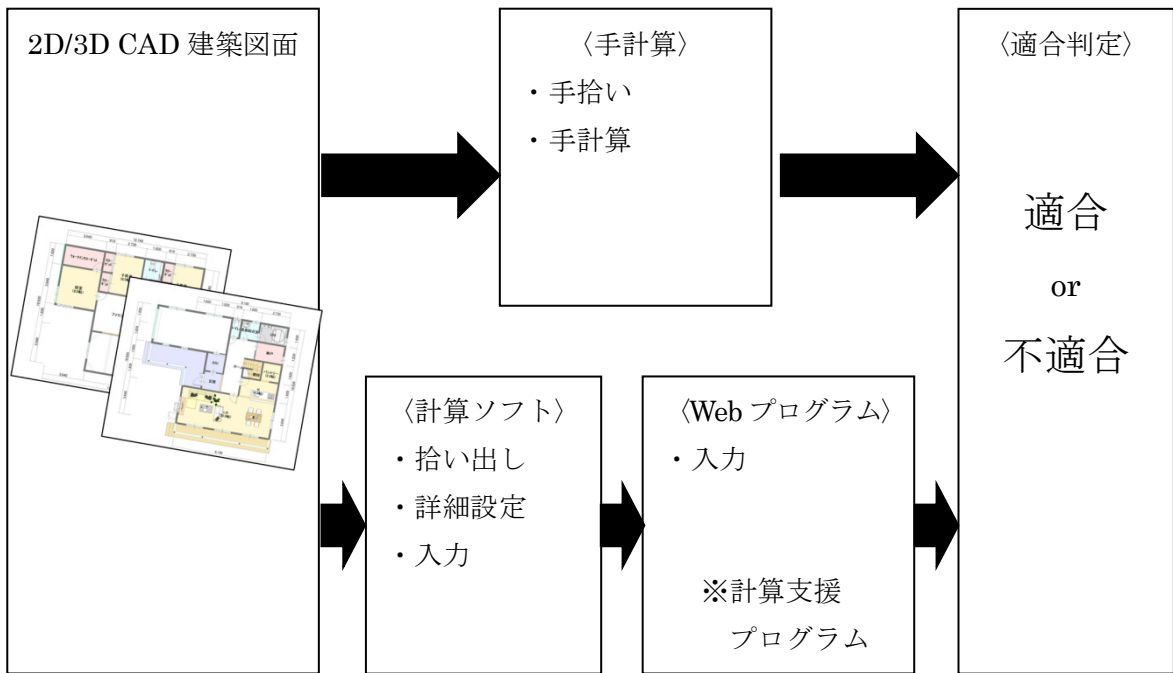
坂上 慎一郎（さかうえ しんいちろう）／寺内 宏樹（てらうち ひろき）

TEL: 03-4335-6431 E-mail: press@k-engine.jp

※このリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、経済産業記者会にお届けし、K-engine ホームページ（URL: <http://k-engine.jp/>）でも発表しています。

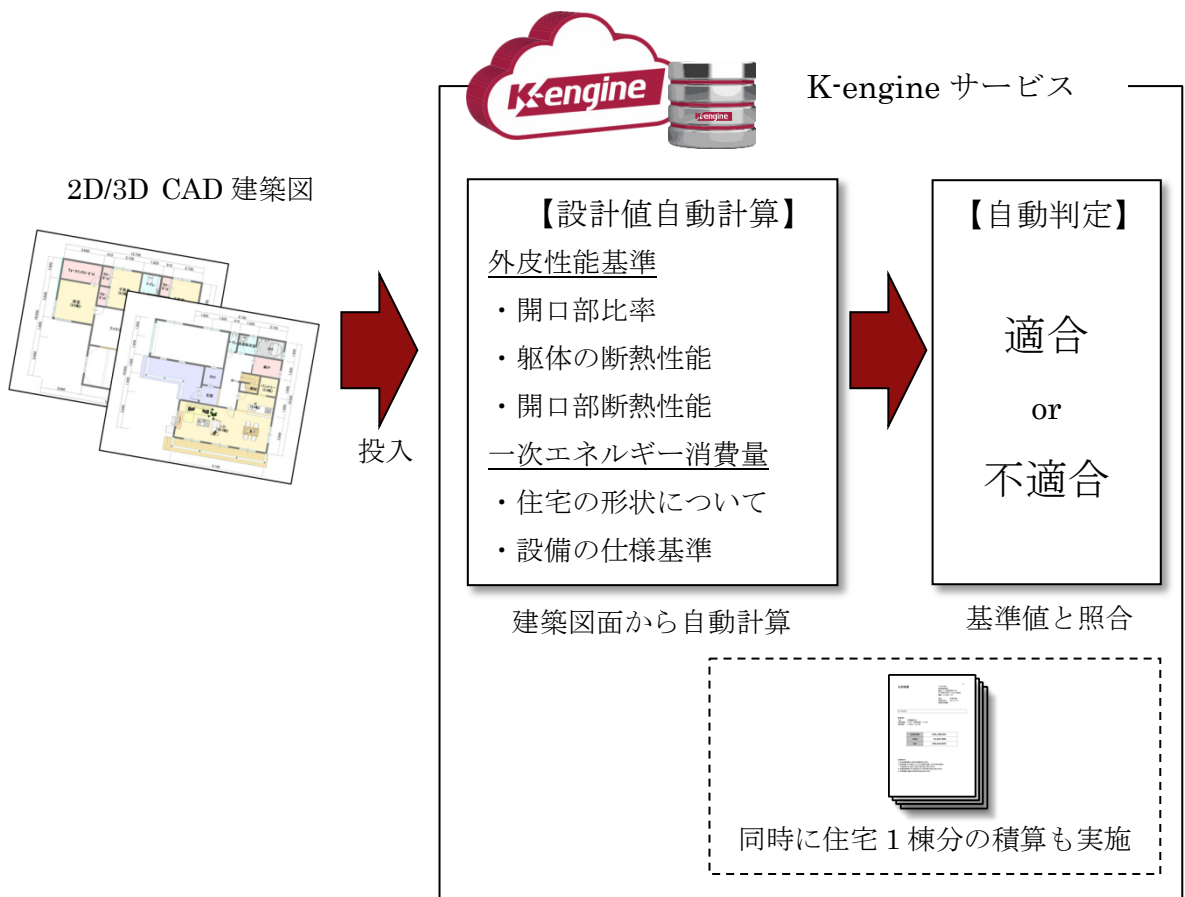
■参考資料

従来の仕組と K-engine サービス「改正省エネ基準の自動判定システム」について
 <従来>



手計算または計算ソフトを使い、適合・不適合の判定を実施。
 (手間も時間もかかっています。)

<K-engine サービス「改正省エネ基準の自動判定システム」>



建築図面投入だけで5分で判定！
 不適合の場合は、不適合箇所も抽出！